

第 68 回 応用森林学会大会

学 会 会 長：二宮生夫

大会実行委員長：山田容三

大会実行委員：上谷浩一，嶋村鉄也，都築勇人，寺下太郎，鍋嶋絵里，
守屋 均，小林 剛

会 場： サンポートホール高松
〒760-0019 香川県高松市サンポート 2-1

主 催： 応用森林学会

共 催： 一般社団法人 日本森林学会
一般社団法人 日本森林技術協会

会 期： 2017 年 11 月 25 日（土）総会，公開シンポジウム，懇親会
11 月 26 日（日）研究発表

参 加 費： 当日大会参加費 2,000 円（学生は無料）
当日懇親会費 5,000 円（学生会員は 1,000 円）

大会事務局： 〒790-8566 松山市樽味 3-5-7
愛媛大学大学院農学研究科森林資源学コース内
第 68 回応用森林学会大会事務局
T E L：089-946-9665
F A X：089-946-9665
E-mail：afs68@aplforsci.jp

日程表

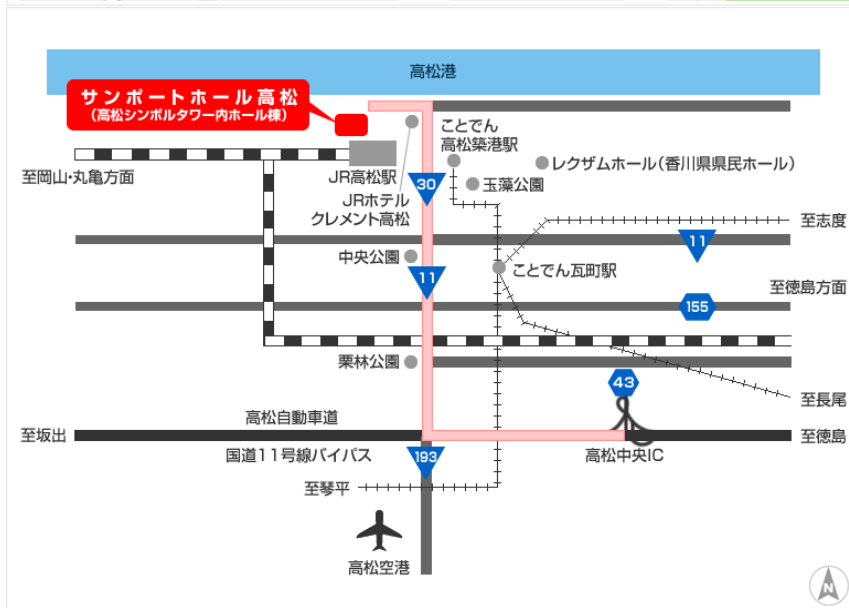
	61 会議室	第 1 会場 (51 会議室)	第 2 会場 (52 会議室)	第 3 会場 (53 会議室)
11 月 25 日 (土)	13:00-14:00 総会			
受付 12:00-	14:00-16:30 公開 シンポジウム			
17:30-19:30 懇親会 (JR ホテルクレメント高松 20 階スカイレストラン フィオーレ)				
11 月 26 日 (日) 午前		研究発表 10:00-11:45 造 林 (A01~A06)	研究発表 10:00-11:45 防 災 (B01~B03)	研究発表 10:00-11:30 経 営 (C01~C02)
受付 9:00-		緑 化 (A07)	林業技術 (B04~B07)	林 政 (C03~C05)
				利 用 (C06)
11 月 26 日 (日) 午後		研究発表 13:00-14:30 生 態 (A08~A10)	研究発表 13:00-14:15 立 地 (B08~B10)	
		育 種 (A11~A13)	保 護 (B11~B12)	

会場案内

サンポートホール高松アクセスマップ

- JR 高松駅から徒歩 3 分
- ことடன்高松築港駅から徒歩 5 分
- 高松港から徒歩 2 分
- 高松自動車道高松中央 IC から車で約 20 分
- 高松空港からリムジンバスで JR 高松駅行き約 45 分

※会場に駐車場は用意しておりません。



サンポートホール高松フロアマップ

11/25 (土)

61 会議室：総会・シンポ会場

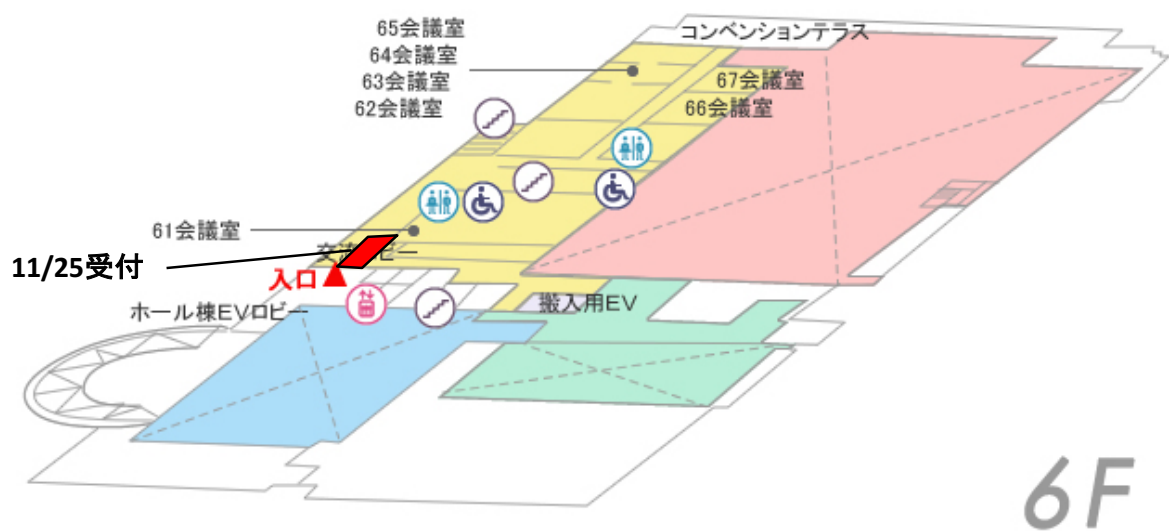
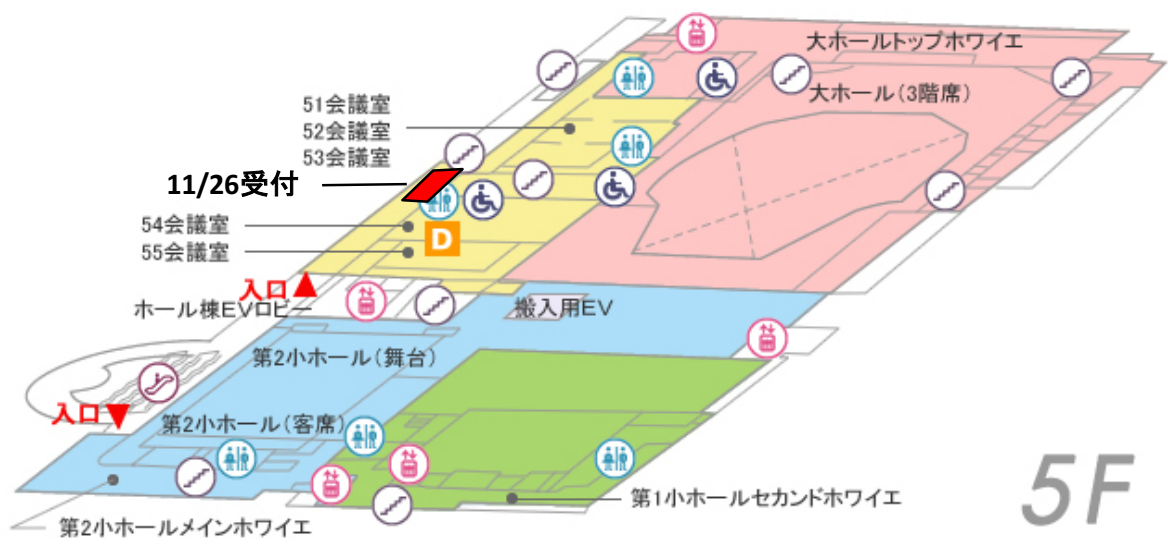
67 会議室：控室

11/26 (日)

51, 52, 53 会議室：発表会場

64 会議室：休憩室

67 会議室：大会本部



研究発表に関する注意

研究発表の時間は、15分（発表12分、質疑3分）です。発表は液晶プロジェクターでお願いします。OHP、スライドは使用できません。なお、以下について留意して下さい。

- 会場にはOSが「Windows 7」の「Microsoft PowerPoint 2010」がインストールされたPCを準備します。
- ファイルは、USBメモリーにより持参して下さい。
- PCへのデータ転送、操作確認等は、午前の部に発表の方は午前の部発表開始10分前までに、午後の部に発表の方は昼食休憩中に、発表者各自が行って下さい。
- PCの操作は、発表者各自でお願いします。
- 発表者は次の講演の座長を行ってください。

第1会場 (51会議室)

時刻	番号	部門	演題と発表者氏名
10:00～10:15	A01	<u>造林</u>	マダケ伐採跡地への塩素酸除草剤の土壌散布による再生抑制効果及び下層植生への影響 福井修二・帯刀一美・大場寛文
10:15～10:30	A02	<u>造林</u>	オニグルミの有用広葉樹としての可能性と直播造林 陶山大志
10:30～10:45	A03	<u>造林</u>	智頭林業地における100年生を超える伐期延長林の密度管理の特徴 高橋絵里奈・岡田真一郎・米康充
10:45～11:00	A04	<u>造林</u>	山口県に適応した早生樹の開発に向けた予備試験について 渡邊 雅治
11:00～11:15	A05	<u>造林</u>	モウソウチクの皆伐と植栽による広葉樹林化について(II) 一皆伐と地拵え、植栽、刈り払いで棚地拵えが問題であった— 豊田信行
11:15～11:30	A06	<u>造林</u>	食害を受けたスギ・ヒノキコンテナ苗の植栽1年目の地上部および地下部現存量 米田令仁・大谷達也・藤井 栄・酒井 敦
11:30～11:45	A07	<u>緑化</u>	ニホンジカの採食圧を受けてきたヒノキ人工林の表土移動に対する下層植生の効果 三井 香代子
昼 休 み			
13:00～13:15	A08	<u>生態</u>	西日本におけるコブシ衰退の現状と要因 高橋 和規
13:15～13:30	A09	<u>生態</u>	京都市におけるヒノキの繁殖器官の生産に前年の気温と繁殖が及ぼす影響 中西麻美・稲垣善之・大澤直哉・柴田昌三
13:30～13:45	A10	<u>生態</u>	開葉時期と枝の道管形成時期の同調性—京都大学上賀茂試験地のタマミズキの事例— 高橋さやか・高橋絵里奈
13:45～14:00	A11	<u>育苗</u>	地域差検定林に共通植栽されたスギ精英樹系統の乾燥ストレス応答特性 河合慶恵・岩泉正和・三浦真弘・久保田正裕・五十嵐秀一・市栄智明
14:00～14:15	A12	<u>育苗</u>	近畿中国四国地方におけるヒノキ第二世代の繁殖特性 三浦真弘・岩泉正和・河合慶恵・久保田正裕
14:15～14:30	A13	<u>育苗</u>	近畿・瀬戸内地域で新たに収集されたマツノザイセンチュウ系統の病原力評価 岩泉正和・河合慶恵・三浦真弘・松永孝治・小林 玄・渡辺敦史

第2会場 (52会議室)

時刻	番号	部門	演題と発表者氏名
10:00～10:15	B01	<u>防災</u>	ヒノキ人工林における傾斜の違いが5割伐採後の土砂移動量に与える影響 土井裕介・尾形信行
10:15～10:30	B02	<u>防災</u>	島根県松江市水源ダム流域における森林の水源涵養機能に関する検討 上山陽介・橋本 哲
10:30～10:45	B03	<u>防災</u>	平成14年4月の熊本地震による地すべりおよび崩壊の特徴― 斜面安定解析結果に基づく地震時および降雨時の斜面安全度の比較 ― 本田尚正
10:45～11:00	B04	<u>林業技術</u>	スダジイ林に設置したシカ排除柵の樹木更新への効果―シカ排除柵設置6年後の状況― 尾崎真也・山瀬敬太郎
11:00～11:15	B05	<u>林業技術</u>	兵庫県におけるニホンジカ不嗜好性樹木「ウリハダカエデ」の分布と山引き苗の育苗試験について 尾崎真也・小長井信宏・山瀬敬太郎
11:15～11:30	B06	<u>林業技術</u>	「岡山甘栗」の収穫方法の検討―新たなクリ収穫器具について― 西山嘉寛
11:30～11:45	B07	<u>林業技術</u>	早生樹に関する調査―ユリノキ個体の生育状況について― 西山嘉寛
昼 休 み			
13:00～13:15	B08	<u>立地</u>	四万十川流域モミ天然林生態系におけるプロトン収支 稲垣善之・酒井寿夫・野口享太郎・森下智陽・藤井一至
13:15～13:30	B09	<u>立地</u>	島根大学三瓶演習林内小流域における窒素収支長期モニタリング 葛西絵里香・○山下多聞・尾崎嘉信・橋本 哲・藤巻玲路
13:30～13:45	B10	<u>立地</u>	棚田跡地に植林されたヒノキ・スギ混交林における土壌炭素蓄積速度の推定について 酒井寿夫
13:45～14:00	B11	<u>保護</u>	マツノマダラカミキリ逸出抑制法の設置環境による材内死亡率の比較 杉本博之・浦野忠久・中村克典
14:00～14:15	B12	<u>保護</u>	カシナガトラップによるナラ枯れに強い林分への誘導(2) 三枝道生

第3会場（53会議室）

時刻	番号	部門	演題と発表者氏名
10:00～10:15	C01	<u>経営</u>	間伐方法の異なるスギ人工林の直径成長の違いについて— ナスビ伐り、上層間伐、普通間伐の比較から — 田中邦宏・齋藤和彦・田中真哉・近口貞介・楢山真司
10:15～10:30	C02	<u>経営</u>	タケの効率的な現地調査手法の検討 ～ミャンマーPaungLaung保護林での事例～ 北原文章・佐藤 保・Billy Ne Win・Tun Tun Win・Kyaw Win Maung・Htun Latt・鷹尾 元
10:30～10:45	C03	<u>林政</u>	森林にかかわる花粉症研究の動向 河瀬麻里
10:45～11:00	C04	<u>林政</u>	2013年住宅・土地統計調査の調査票乙による所有面積規模別山林所有世帯数 松下幸司・山口幸三・吉田嘉雄・仙田徹志
11:00～11:15	C05	<u>林政</u>	森林所有者の林業に対する現状認識 栃木県の事例 芳賀大地
11:15～11:30	C06	<u>利用</u>	2トントラックとフォワーダの搬出作業の生産性 片桐智之

昼 休 み